■神近市子　　社会評論家，政治家。四角恋愛で<大杉栄傷害事件>を起こし，文筆を主に女性解放・人権擁護活動。
かみちかいちこ
初の対等条約1888＝　　長崎県北松浦郡佐々村小浦(佐々町)で，漢方医神近養斎・ハナの三女に生まれた。
帝国憲法発布1889＝ 1歳：

足尾鉱毒始・1891＝ 3歳：父を，

続いて長兄を失い，家は没落したが，
日清戦争始・1894＝ 6歳：

八幡製鉄始・1897＝ 9歳：

親戚の援助により，長崎活水女学校を経て，
日露戦争終・1905＝17歳：
満鉄発足・・1906＝18歳：
_女子(津田)英学塾に進学，外国人教師から"凄い頭"と驚嘆される。

_学費を稼ぐため{万朝報}の懸賞小説に応募して入選，

大逆事件判決1911＝23歳：_創刊された{青鞜}を知り，
明治天皇没・1912＝24歳：*{青鞜社}に加盟して，翻訳などを発表。
大正政変・・1913＝25歳：_卒業。{青鞜}から引き離そうとする英学塾の意向で，弘前の青森県立女学校教師となるも，やはり"新しい女"として世間から指弾されていた青鞜社員であることを理由に免職となり，
第一次大戦始1914＝26歳：_東京に戻り，{東京日日新聞}の記者となる。敏腕婦人記者として有名婦人とのインタビューなどに活躍，
21ヶ条要求・1915＝27歳：_{青鞜}を退いた親友尾竹紅吉と女性による芸術雑誌{番紅花(サフラン)}を創刊。社会主義思想に接近し，アナーキスト大杉栄の仏蘭西文学研究会に参加，小説・評論を発表する一方，大杉に経済的援助を与え運動に協力するが，大杉栄を巡って，妻伊藤野枝との四角関係に悩み，
民本主義・・1916＝28歳：*葉山日蔭茶屋で彼を刺し，瀕死の重傷を負わせる。市子は自殺を図り入水するが失敗，自首して2年の刑に処され世間を驚かせた。
本格政党内閣1918＝30歳：_出獄後，評論家鈴木厚と結婚し，3児をもうけ，その苦しい貧乏暮らしを，子育てをしながら，文筆生活で支え，{種蒔く人}に評論などを発表して，プロレタリア文学運動に関わり，
原敬首相暗殺1921＝33歳：
護憲三派圧勝1924＝36歳：
治安維持法・1925＝37歳：「社会悪と反発」を出版，

共産党事件・1928＝40歳：長谷川時雨らの{女人芸術}創刊に協力，

満州事変・・1931＝43歳：

国際連盟脱退1933＝45歳：

芥川直木賞始1935＝47歳：_夫とともに{婦人文芸}を創刊，小説・翻訳・婦人問題の評論を手がけるが，
二二六事件・1936＝48歳：_離婚し，翻訳によって子供たちの養育を一身に担う。
日中戦争始・1937＝49歳：
_{戦旗}に参加するころから女性解放運動に挺身。

日米開戦・・1941＝53歳：
・・・・・・1942＝54歳：

敗戦・・・・1945＝57歳：_戦後も，

新憲法施行・1947＝59歳：*民主婦人協会・自由人権協会設立に参加して，女性解放・人権擁護のため活動。

三大事件・・1949＝61歳：「女性思想史」，

独立回復・・1951＝63歳：

TV放送始・・1953＝65歳：_社会党から衆議院議員に初当選(以後，当選5回)。
自衛隊発足・1954＝66歳：「灯を持てる女人」，

国連加盟・・1956＝68歳：とくに，売春防止法成立にあたっての功績が大きい。「私の半生記」，

安保闘争・・1960＝72歳：

全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝81歳：*政界を引退。
沖縄返還・・1972＝84歳：「神近市子自伝」，
・・・・・・1981＝93歳：東京の自宅で，_没した。
その死は"新しい女の終焉"といわれた。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，「目でみる日本人物百科」，「女たちの20世紀･100人」，「日本の女性」，